

令和4年度 自然保育推進事業活動報告書

みどりの森みらいこども園

◆乳児組（0・1・2歳児）

園庭で虫（コオロギ・だんご虫・バッタ・蜘蛛・みみず・ハサミ虫・蝶など）を見つけて、不思議そうに見つめたり、ふれてみようとして虫を追ってみる等、興味津々に興味・関心を膨らませ、触れ合う楽しさを体験していました。また、バギーに乗って園外散歩に出かける中で、四季折々の草花に触れたり、匂いや感触などを感じ、五感をフル活用して散歩を楽しんでいました。保育者や友だちと一緒に水・泥あそびで五感を刺激され、全身を使って心地良さを感じ心が解放されていました。



◆うさぎ組（3歳児）

植物や昆虫など自然に触れ合える場所に散歩に行き、季節の変化を感じ取ったり、斜面登りや竹でできたシーソーを楽しみました。斜面登りでは、登り方を試行錯誤したり、友だち同士で声をかけ合い、助け合いながら何度も挑戦していました。また、冬に旭山へ行くと雪があり、木々から落ちてくる雪が太陽にあたる様子をじっと観察し、雪を踏んだ時に鳴る音の変化に気づき、冬ならではの自然現象の不思議さやいろいろな変化に驚き、刺激を受け散歩を楽しんでいました。



◆そら組（4歳児）

子どもたちから「雨の日だって散歩に行きたい」と始まった雨の日散歩。葉っぱに乗った雨の雫がこぼれ落ちないようにそっと触ってみたり、自然の不思議さに触れながら事象に興味や関心を抱いていました。春から自分たちで育てたアサガオを使って色水作りを楽しみ、染めTシャツにも挑戦しました。また花びらの色と染色後の色が違うことや花びらの量により濃淡が変わることに気付いたり、他の草花でも試していました。秋には焼き芋会に使う落ち葉や枝はどんな種類が燃えやすい？の疑問を持ち実験をした上で、収集する種類を選別し持ち帰りました。年間を通して自然豊かな様々な場所へ出かけ、様々な自然と出会うことで健やかでたくましい身体と豊かな感性を育てていました。



◆ひかり組（5歳児）

旭山やグリーンベルトに行くと、木登りやツタのターザンロープに挑戦し、木の選び方や体の動かし方などの学びを深めていました。葉っぱや木の実を見つけるとルーペを使ってじっくり観察したり、「なんかいい匂いする」と木の皮を嗅いだり五感を使って自然物に触れることを楽しんでいました。また、お泊まり保育や運動会など行事の中で竹を使って釣竿や登り棒を作ったり、なすびの皮で染めTシャツをしました。様々な経験から知識や興味を深め身近な自然に多様に関わっていました。雪遊びでは、ソリ滑りや雪合戦を行い、雪や氷に触れ様々に思考し関心を膨らませて科学する芽を養っていました。

